

「楠田大蔵市長と語る会」(要点記録)

- 行政区 通古賀

- 日時 平成 30 年 11 月 10 日 (土) 午後 7 時～午後 8 時 33 分

- 出席者 (市民) 29 人 (当該区 : 23 人 その他 : 6 人)
(執行部) 12 人
市長、副市長、教育長、総務部長、総務部理事、市民生活部長、
健康福祉部長、都市整備部長、観光経済部長、教育部長、教育部
理事、議会事務局長
(事務局) 5 人
経営企画課長、地域コミュニティ課長、地域コミュニティ係長、
広聴広報係長、広聴広報係員

- 会議内容
 - 1 開会のことば 午後 7 時～

 - 2 自治会長あいさつ 午後 7 時 3 分～

 - 3 市長あいさつ 午後 7 時 5 分～

 - 4 市からの説明 午後 7 時 30 分～
 - ・防災について
 - ・ごみ減量について

 - 5 意見交換 (別紙) 午後 7 時 41 分～

 - 6 閉会のことば ～午後 8 時 33 分

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 1	意見	災害時の避難場所について。自宅が筑紫野市との境にあるが、避難場所は公民館となっている。近くに大きな施設があるが管轄は筑紫野市であるため、市からなんとかできないか。	<p>(市長)</p> <p>おっしゃる通り、安全な場所への避難は重要であります。法律や両市の協議の有無は不明ですが、民間との協定や他自治体の連携も心がけ、工夫してまいります。</p> <p>(総務部長)</p> <p>他自治会の方からも同様のご意見をいただきました。他市の施設のキャパシティもあるため、一度本市に尋ねていただき、こちらから打診してからであれば可能でしょう。しかしながら、まずは早い段階から自主避難所を使用するなどして早め早めの行動をお願いします。</p>
質問者 2	意見	災害時の自治会との連携について。隣組の連絡網があり、訓練も行っているが7月の豪雨の際には連携が取れていなかったようだ。どこが危険なのか、もっと具体的に場所を限定してほしい。そのために災害時には自治会長経由でどの区のこのあたりに避難指示が出ているなどを連絡してほしい。	<p>(市長)</p> <p>おっしゃるとおり住民の皆さんの協力なくして対応は不可能です。全体的なシミュレーションを行っていく必要性を認識しており、すでに検討を始めております。同じ自治会の中でも危険度を区分できないか、担当とも協議中でありまして、ご意見のようなシステムのほうがたしかに現実的です。しっかりやってまいりたいと思います。</p>
質問者 3	意見	災害時の情報発信について、住民はテレビを多く見ている。テレビ局へ直接市長から電話してもらえないか。直通電話回線を引くなどできないか。	<p>(市長)</p> <p>直通電話については検討を要しますが、ケーブルテレビは地域的な情報を発信しているため、そちらとの話は進めているところでございます。避難情報を即座に発信できるシステムについては民放各社ともさらに連携を密にしてまいります。</p>

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 4	意見 1	福岡の高島市長は国政に入りたかったらしいが、楠田市長は国政に色気向けず、腰を据えて太宰府市政に集中してほしい。	(市長) もちろんその覚悟です。
	意見 2	先月東京に住む友人から市政の混乱について電話があった。今はだいぶ落ち着いてきたようだ。市長も、議会も、若い職員も外からの視点で頑張してほしい。	(市長) ようやく混乱から脱しつつあります。しっかり頑張ります。
	意見 3	回収されずに放置されているゴミ袋が多い。ひどいものだともう半月もそのままになっているものがある。問い合わせると市民に仕分けしてもらいたいと言われた。ゴミが町中に散乱していることについてどのような考えか。	(市民生活部長) 現在市の施設が使用できない状況にあり他市の施設を利用しております。その利用条件が、きちんと分別されていること、されていないものは回収しない、ということでございます。本来はゴミを出した本人が処分すべきではありますが、出した人が不明のものについては 12 月のクリーンデーの際に集積箇所へ持ってきていただくよう、自治会長へ連絡を行っております。 【後日 環境課見解】 不燃ゴミについては、収集したゴミを作業員が手作業で仕分けを行っていますが、分別状況が悪く、大変苦慮しているところでございます。同じ分別をしている他市では、皆さんが分別に協力していただくことで、シールを貼ることが少ないとうかがっております。本市では、分別マナーの向上に向け、シールを貼付し、出された方が正しく分別し出し直していただくよう、指導を強化しているところですが、今後は不燃ゴミの分別マナーを更に向上できるよう、ゴミ袋の色を変更するなどの検討を行います。
質問者 5	意見 通古賀 3 丁目在住だがいらぬ建物が多い。文化ふれあい館やとびうめアリーナなど。これらは相当の負債になっているのでは。プラスアルファが出ていない中でこういう状況をいつまで続けるのか。福岡市と	(市長) ご指摘のとおり、老朽化した公共施設が増え、採算もとれていない状況のため、再編計画を立てていきたいと考えております。また、今後の総合的なまちづくり計画	

		質問・意見等	区に対する回答
		<p>比べて水道料金がものすごく高いので、こういった施設を民間に払い下げれば利益になるのでは。役所も他人事と思わないでほしい。他にも昔からの負債があるので早く何とかすべき。</p>	<p>を通じて、自らの問題として住民の皆さんに納得していただけるような持続可能な計画を策定してまいります。</p>
質問者 6	意見 1	<p>自主財源を増やすことについて、市の説明のとおりだと思う。 国士舘大学の跡地について、滞在型の観光を望むなら、修学旅行専門の宿泊施設などに改造するなどしては。</p>	<p>(市長) 国士舘大学の跡地については民間企業の知恵も得ながら更に検討を進めてまいります。 修学旅行専門の施設については、以前他の地でそういった話も出ておりましたようですが実現には至っておりません。歴史のあるまちでありますので、回遊性を高めるために可能性を探ってまいります。</p>
	意見 2	<p>鷺田川の上流は地下河川工事が行われている。この工事は「上流が浸水しやすいからひとまず上流だけ処置する」というようにしか見えない。下流から順番にやっていくのが筋ではないか。市長から県へ要望してほしい。</p>	<p>(市長) 「想定外」は通用しない現在、気象状況の変化に応じたシミュレーションも考えていかなければと感じております。地下の水路や河口を広げる、浚渫をするなどの対策は行ってきたと伺っておりますが、もう少しお時間をいただき、皆さんにお伝えしたいと思います。また、一市だけが得をするようなかたちではなく、近隣とも連携した対応を図ってまいります。</p> <p>【後日回答】 (都市整備部長) 10月5日に楠田市長名で提出した「那珂県土整備事務所への県事業要望書」の中に、御笠川、鷺田川の河川改修に関して要望しております。御笠川本川に関しても現在実施されています「高尾川床上浸水対策工事」後には太宰府市下川原橋下流から大野城市の未整備区間の整備をしていただくように、「御笠川改修促進協議会」で11月13日(火)に県及び国に要望活動を行いました。</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			今年度の鷺田川の工事は、現在多々良橋から鷺田橋までの浚渫工事、鷺田橋から市ノ上橋までの護岸根継工事、赤岸井堰から田中橋の上流部分までの 110mの浚渫工事を那珂県土整備事務所で実施されます。
質問者 7	意見	5月28日に行った審査請求の結果はまだ出ないのか。	(市長) 近々ご報告させていただきます。もう少しお時間をいただきますがよろしくお願い致します。
質問者 8	意見 1	不燃物も可燃物と同様に家庭の前において回収できないのか。	(市民生活部長) 前回の懇談会でも同様のご意見をいただきました。戸別回収となりますと、収集会社との協議が必要となります。燃料費などもあり、今の収集単価では厳しい状況であるため、当面はこのままの回収方法となりますが、内部では協議を進めているところでございます。 【後日 環境課見解】 不燃ごみの戸別回収については、収集運搬費用が増大することが考えられるため、今後、費用対効果や社会動向、地域の実情等も踏まえながら検討していきます。
	意見 2	ふるさと納税について、昨年度の収支のバランスはどのような状況だったのか。	(市長) 収入は四千万円ほどです。その前年は二千万円ほどだったため、微増という状況でございます。ただし他市と比較するとまだまだ桁違いであり、工夫次第でまだまだ可能性はあるため、今後も最大限力を入れてまいります。
質問者 9	意見	施政方針の「第6のプラン」にある「民間の知恵を生かした高齢者福祉」とあるが、高齢者福祉も大事だが行政改革を進めてほしい。	(市長) これは高齢者福祉だけのことではありません。私自身も民間での経験がありますし、今回市出身でない副市長・教育長をあえて任命しております。さらにまちづくり会議にも積極的に民間の方を入れてまいります。税金をいかに効率よく使い、後世にツ

		質問・意見等	区に対する回答
			ケを残さないかという点が重要であり、私の使命だと思っております。
質問者 10	意見	ごみ問題について、コンポストを使うなど、小さなことからすこしずつやっていけば節約できる。市からもっと発信してもらいたい。	<p>(市長)</p> <p>多くのご指摘をいただいておりますので、今回市からの説明のテーマにごみ問題を取り入れております。そうした認識を持っておりますので、今後も力を入れてまいります。</p> <p>(市民生活部長)</p> <p>今後もあらゆる場面を通してごみ減量の啓発に取り組めます。</p>